

入院診療計画書 大腿骨近位部骨折 人工骨頭挿入術・観血的骨接合術 No.1

ID () 氏名 () 様 病名 () 説明日 (年 月 日)
 病棟 () 担当医師 () 看護師 ()

月/日	外来 (入院まで)	入院時～手術前日	手術当日 (手術前)	手術当日 (手術後)	手術後1日目
経過	外来 (入院まで)	入院時～手術前日	手術当日 (手術前)	手術当日 (手術後)	手術後1日目
目標	①不安なく入院できる ②手術・麻酔・検査について理解できる	1.入院準備ができており、手術や麻酔に対する理解と受け入れができ心身ともに安定している 2.安静時の痛みのコントロールができる 3.手術後の離床・リハビリについて理解できる			1.痛みのコントロールができる 2.全身状態が安定している 3.リハビリについて理解できる、参加できる
検査 処置	入院に必要な検査を行います □血液検査 □検尿 □心電図 □心エコー □レントゲンなど □新型コロナウイルスPCR検査 (/) ・マニキュア、ジェルネイル、エクステ (睫毛・頭部) ポディーピアスなどは、外して来てください	血栓予防のために、両足に弾性ストッキングを履きます。 必要時、牽引を行うことがあります。 安全確認のため患者識別バンドを装着します。	手術着に着替えます。 手術予定2時間前に点滴を行う部位に痛み止めのテープを貼ります。 眼鏡、腕時計、義歯、コンタクト等の装飾品を外して下さい。	酸素マスクと心電図モニターをつけます。 酸素マスクは麻酔科医の指示にて外します。 血栓予防のためフットポンプを装着します。 痰が多い場合には吸引を行います。	朝、採血があります。 心電図モニターを外します。 フットポンプを外します。 車椅子に乗ることができれば、弾性ストッキングを外します。
お薬	入院時、薬・お薬手帳をお持ち下さい □中止薬 有・無 薬剤 (月 日～休業)	持参された内服は確認させていただきます。 手術前に中止するお薬がある場合があります。 痛みが強いときや眠れないときには医師の指示にて、薬を使用します。	麻酔科医師の指示にて 中止になる薬があります。	抗生物質の点滴と水分補給の点滴があります。 痛みの程度により、鎮痛剤を使用できます。 持続的に薬を投与するポトルから痛み止めをすることがあります。	朝と夕に抗生剤の点滴があります。 痛み止めの内服があります。
活動 安静度	医師の指示に従って下さい コンタクトを使用されている方は管理のため道具や眼鏡をご持参下さい	ベッド上安静です。骨折した足は、安楽枕で挙上します 両足首の運動や痛くない方の足は動かしてください。 床ずれ予防に体位交換し、柔らかいマットを使用することがあります。		ベッド上安静です。 足くびの運動は積極的に行って下さい。	介助で車椅子に乗ることができます。 足首や痛くない足はしっかり動かして下さい。 リハビリが開始になります。
食事	制限はありません	年齢・疾患に応じた食事が出ます。 食事は手術前日の21時までです。 飲水は、22時以降は、水・お茶のみ可です。	絶食です。 飲水は麻酔科の指示によります。	直後は絶飲食です。 術後3時間で看護師が飲水確認し、問題なければ食事も可能です。	通常の食事になります。
排泄	医師の指示に従って下さい	ベッド上での排泄になります。 尿の管が入ることがあります。		ベッド上での排泄です。 尿の管が入っています。	朝、尿の管を抜きます。 車椅子でトイレに行くことができます。
清潔	医師の指示に従って下さい 術後入浴のために、ビニール袋とテープを持参ください	前日に体拭きを行います。 陰部の洗浄を行います。	手術前に、 陰部の洗浄を行います		体拭きを行い、着替えます。
説明	□手術同意書 □アレルギーの有無： 有・無 □入退院支援窓口での説明 □身長・体重測定 □麻酔科受診 □術前看護外来受診	術後の退院に向けて家屋や介護力等の情報を確認します。 ※同意書は取り込みをしますので、書類は持参してください。	手術室の前まで家族と行きます。 ご家族はベットサイドかロビーでお待ちください。	手術後、結果の説明があります。	ベットから初めて動く際に看護師が説明しながら移動します。
特別な栄養管理の必要性				有	

注1) 病名・入院期間等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わり得るものです。



注2) 病状等により担当スタッフが変更になる場合がありますので、ご了承下さい。

注3) 病室は、緊急入院の関係上、入院日当日にご案内いたします。また、病棟においても変更の可能性がございます。

本人(又はその代理人)署名

(続柄：)

文書コード []

経過	手術2～3日目	手術4～7日目	術後8～14日目
目標	1. 痛みのコントロールができる 2. 退院後の生活が想像できる。 3. リハビリについて理解できる、参加できる 4. 身の回りの事が出来るようになる。		
検査 処置	採血があります（3日目） 	採血とレントゲンがあります	採血とレントゲンがあります 医師により傷口のガーゼをはがします。（10日目）
お薬	抗生剤の点滴があります（2日目まで） 痛みが強い場合は頓服を使用します 		
活動 安静度	車椅子に乗ることができます。 ふらつき・痛みなどあれば、介助します。 痛みの範囲内で身の回りのことは出来ます。 日曜・祝日と土曜日（一部除く）は、リハビリが休みです。自己または看護師に依頼しリハビリしてください。 ※転倒・転落には、くれぐれも注意してください。		
食事	病院から出る食事はしっかり食べてください。 水分もこまめに飲んでください。		
排泄	車椅子でトイレに行きます。	車椅子で自分で操作し トイレに行けるようになります。	歩行器やシルバーカーでトイレに行けるようになります。
清潔	傷口を防水して、介助で シャワーに入れるようになります。		10日目以降、ガーゼがはずれたら保護なしでシャワー が可能になります。
説明	リハビリ以外でも可能な範囲で体を 動かしてください。	少しずつ起きている時間を 増やしてください。 リハビリ担当者・看護師と共に 病棟で行える身の回り動作の カンファレンスをします。	看護師が退院後の生活の注意点について説明をします。 医師にて傷の確認後、問題がなければ退院可能となります。 ※一般的な経過であり必ずしも退院ということではありません。 治療の継続が必要と主治医に判断された場合は 引き続き治療をしていきます。 ※不明な点があれば気軽に看護師にお伝え下さい。